

# GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局  
宮崎市橘通東3-1-22  
宮崎合同庁舎  
TEL0985(38)8821

宮崎労働局HP



## 令和6年11月統計

- 【労働災害発生状況】 死亡災害14件、死傷災害1,281件  
(年計・コロナ感染症を除く休業4日以上の死傷災害)
- 【有効求人倍率】 1.37倍

## 年頭のご挨拶

～労働分野の様々な課題解決に向けて～



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになったことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、生産年齢人口の減少や急激な物価上昇という状況等を踏まえ、宮崎労働局では最低賃金・賃金の引上げ及び人材確保に向け、各種支援策を積極的に働きかけてまいりました。本年におきましても、引き続き、就職イベントの開催をはじめ、各種セミナーや職場見学等の実施など、引き続き企業に対する人材確保支援に積極的に取り組んでまいります。

また、「働き方改革」の取組を支援することで、多様な働き方を自由に選択できる環境を整備してまいります。

さらに、昨年の労働災害は依然、高い水準で推移しており、「宮崎労働局第14次労働災害防止推進計画」の各種施策を積極的に推進してまいります。

このように、宮崎労働局では、地域

社会経済の維持、発展のために宮崎県における総合労働行政機関として、賃金引上げに向けた支援をはじめ、労働分野における様々な課題に取り組んでまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。



坂根登 宮崎労働局長

## 労働局長、現場に足を運びます!

### ベストプラクティス企業訪問

11月27日、坂根局長はベストプラクティス企業（県内で長時間労働削減に取り組んでいる企業）として、(株)岡崎組（宮崎市 建設業）、その主な発注者である国土交通省宮崎河川国道事務所と意見交換を行いました。

(株)岡崎組は生産性の向上のため、積極的に作業のIT化を進め、長時間労働の削減等に成果を挙げています。同社の岡崎社長からはきっかけや各種取組、苦勞された点等の話があり、発注者の大嶋所長からは働き方改革を踏まえた取組の説明がありました。坂根局長からは「地域住民の方々の暮らしを支えるため、建設会社、発注者の協力のもと、さらに働きやすい建設現場を目指していただくことを心から祈念しています。」とのコメントがありました。



意見交換の様子

### 建設現場パトロール

パトロールの様子



例年、年末から年始にかけ労働災害が増加する傾向にあり、特に、建設業では最盛期を迎えることから、宮崎労働局では、『年末年始建設業労働災害防止強調運動（12月1日～1月15日）』を展開しています。

その一環として、12月2日、宮崎労働基準監督署と合同で『宮崎220号内海トンネル新設工事』のパトロールを行いました。

坂根局長は、重機の自動運転や遠隔操作等の安全対策を確認し、「県内の建設現場では死亡災害が毎年発生しており、今年は既に3名もの尊い命が失われている。人命尊重を最優先に、無事故で工事を進めていただきたい。」と工事関係者に呼び掛けました。

## 今月のマーク&マスコット エールベアひむか

宮崎版



ユースエール認定企業の人材確保と若者就職の応援団に、エールベアひむかが就任しました。エールベアは全国のキャラクターですが、宮崎らしい爽やかな装いで登場です。日向夏やマンゴーのような、フレッシュな企業や若者を応援していきます。

# インド・スリランカの 若手労組のみなさまが 労働局と都城所を訪問

記念撮影に臨むみなさんと吉岡連合宮崎  
会長（右から4人目）、坂根局長（同5  
人目）



挨拶するKanishtha Michaelさん



12月3日、宮崎労働局では、国際労働財団（JILAF）の招へい事業により、インドとスリランカの労働組合若手リーダーら計11名の訪問を受けました。

冒頭、連合宮崎の吉岡会長から、JILAFは1989年に連合によって設立され、開発途上国を中心とした各国の労働関係団体等の日本への招へい事業を実施している旨のご紹介がありました。

続いて、訪問団を代表してKanishtha Michaelセイロン労働者会議副会長から挨拶があり、みなさまとお会いしてお話を伺える素晴らしい機会をいただき、お互いの理解が深まることを期待する旨のコメントがありました。

その後、坂根局長からは、「namaste ji」（ナマステジー）「ආඥාදර්ශනං」（アユボワン）

と挨拶があり、参加者の笑顔を誘っていました。

宮崎労働局からは、中玉利賃金室長が日本の最低賃金制度について、改定手順等をはじめとして丁寧に説明を行いました。

一行は午後にはハローワーク都城に移動し、ハローワークの役割や取り組みの説明や、求人検索のデモンストレーションの説明をうけました。

参加者は熱心にメモを取り、「サービスは無償か」「インターネットサービスは外国人が使い易くないか」と活発な質問もあり、最後はお互い笑顔でありがとう「धन्यवाद」（ダンニャワード）「ස්තූතියි」（ストゥーティ）と言葉を交わし、拍手が起きました。

その後、1階フロアの案内を行い、参加者は各窓口を興味深く視察しました。



ハローワーク都城の窓口を視察する一行

宮崎労働局では、労働行政に係る施策の推進等に特に顕著な功績があり、他の模範と認められる方又は団体等に対して、宮崎労働局長表彰及び感謝状贈与を行っています。

本年度は、次の方々に、11月23日（勤労感謝の日）付けにて、表彰及び感謝状贈与を行いました。

## 令和6年度労働行政関係労者 宮崎労働局長表彰 及び感謝状贈与

表

彰

- 🌸 宮崎地方最低賃金審議会委員  
三島 里都子 様
- 🌸 宮崎地方労災医員  
塩見 一剛 様
- 🌸 労災保険審査参与  
蔵本 聡 様
- 🌸 地方労働審議会委員  
伊達 紫 様
- 🌸 地方労働審議会委員  
河野 洋一 様

感謝状贈与

- 🌸 宮崎労災保険診療費審査委員  
河埜 喜久雄 様
- 🌸 地方労働審議会委員  
塩月 顕夫 様



感謝状を受け取る塩月様と代理授与する三浦雇用環境・均等室長

## くるみん認定企業のご紹介



今月号では、**有限会社サンエク様**をご紹介します。

有限会社サンエクの皆様と坂根局長（表彰式の様子）



### ★認定取得後の感想

今回、宮崎県の「ひなたの極」の認証、厚生労働省の「ユースエール」認定に続いて、「くるみん」認定企業となりました。

全社員が生き生きと楽しく働き、仕事と家庭の両立に取り組んできた弊社の、また全社員の誇りとするところ です。

これらの認証、認定に違わない良い会社づくりを、社員全員で築いてまいります。

### ★認定を目指した理由

少子化が進む中で、企業としての子育て支援は、働くことと子育ての両立を図る大切な役割です。

昨年、弊社でも男性社員に第一子が誕生し、育児休業を取得しました。これまでも育児休業等について、全社員に周知を図ってまいりましたが、若い男性社員が多くこれまで男性社員の育児休業の該当者がいませんでした。

女性社員については、育児休業後職場復帰し、子育てと仕事の両立を支援しています。

一昨年、就業規則を改正し、男女とも育児介護休業制度に、弊社独自の一子につき10日間の有給休暇付与の改正を行いました。

今回の「くるみん」認定を機に、社員の子育て支援を充実し、仕事と子育ての両立が図れる職場環境の整備に努めてまいります。